

第23回 富士見都市計画事業鶴瀬駅東口土地区画整理審議会 会議録

会議日時	平成22年3月16日(火)			開会	午前 9時05分	
				閉会	午後 10時50分	
会議場所	鶴瀬駅東口整備事務所 会議室					
出席委員	委員定数 10名中 9名(1名は欠員)					
出席者	委員	会長 (宅地所有者)	小杉 弘	委員 (宅地所有者)	三上 幸太郎	
		副会長 (宅地所有者)	梶 祐規郎	委員 (宅地所有者)	横田 榮作	
		委員 (宅地所有者)	梶 正晴	委員 (借地権利者)	隈川 貴久男	
		委員 (宅地所有者)	長根 章浩	委員 (学識経験者)	吉川 彰	
		委員 (宅地所有者)	萩原 美枝子	委員 (学識経験者)	/	
	幹事	関 繁雄				
	市職員等	(庶務担当課職員) 関まちづくり環境部長・友光所長・関根副所長・平塚主査・高野				
欠席委員	なし					
議長	小杉 弘	担当書記	高野			
署名委員	議長				
	委員				
	委員				

会 議 事 項

1 開 会 友光所長（今回は評価委員会と合同開催であることを説明）

梶 祐規郎 副会長

2 審議会会長あいさつ 小杉 弘 会長

3 議事録署名委員の選出

鶴瀬駅東口土地区画整理審議会会議規則第13条の規定により、議長が会議録署名委員を指名。「梶 祐規郎」委員と「梶 正晴」委員を指名。

4 部長あいさつ 関幹事

（以降の進行は、鶴瀬駅東口土地区画整理審議会会議規則第4条により、小杉会長が議長となる。）

5 報告事項

（1）事業進捗状況について

本件について事務局から、別添資料に則り説明。

質疑応答

委員：工事实施予定の中で、道路築造103mと工事総延長273mの違いは何か？

担当：工事総延長は管渠築造工事も含んだ延長となっている。

委員：建物移転の進捗は5割を超えているが、大きな建物等はこれから移転となる。

今以上の予算がなければ事業期間内に終了できないと思う。今後、予算はどのような見通しか？借り入れをしてでも進めるべきではないか。

担当：24年度当初の暫定開放の次は、駅前広場用地を順次確保していきたいと考えている。効率的な移転が出来るよう移転対象を決め、予算取りを確実に進めていきたい。たより等でも方針や考えを周知していきたい。

会 議 事 項

委員：駅前広場内の雨水管はどうなるのか？

担当：図面により説明。

委員：今の段階の進め方が一番早い。事業への意気込みが感じられる。過去のことを忘れず、良く踏まえて事業を進めて欲しい。また、過去に県とも話をしたことがあるが、東通線の信号がどうなるか、盛土した箇所から水が出ないかは心配。盛土工事で地区内のいい土を移動しているように見える。

担当：建設発生土の有効利用や良質土の購入をしていく。良い土は利用したい。

委員：地区内の低い箇所は盛土して、早く土地利用できるようにしたほうがいい。

担当：道路が出来なければ使用収益開始できない。東通線が出来よう事業を進める。

(2) 公共事業再評価について

事務局から、今年度実施した公共事業再評価について説明。

(質疑応答は特になし)

<その他> 特になし。

6 閉会 横田 正志 評価員

※閉会后、現地視察を行なった。